

## 市立小中学校の規模適正化・適正配置に関する説明会概要（大富小学校）

期 日：平成 27 年 6 月 20 日 14 時 40 分～15 時 55 分（臨時 P T A 集会時）

場 所：大富小学校体育館

参加者：大富小学校保護者 約 50 名、教職員 2 名

### 【意見内容と回答】

※まず、事前に教育委員会へ質問があった事項（問 1～問 6）について、次のとおり報告した。

問 1：小学校が無くなった地域には、若い人、子育て世代が、新しく家を建てて住むということが減り、必ず過疎化が進むと思うが、その点はどう考えているのか？

回答：確かに学校が有るなしが転居の理由の 1 つにはなるとは思いますが、現時点においても市内各地域で人口減少が続いている状況を鑑みると、必ず過疎化につながるかは一概に言えないのではと考えます。また、人口減少に伴う各施策については現在、市でも検討しております。

問 2：規模適正化について大富小学校は、何年度を目途に考え、議論されているのか？また、統合するにあたって登下校など、どのように考えているのか？

回答：現時点では、どこの学校がいつ頃に行うのかといった、具体的な年次計画や優先順位は決まっておられません。しかしながら、複式学級の問題や部活動の問題等、学校運営に影響が出てきておりますので、早急に対応しなければならないと考えています。このため、本年度中に年次計画を踏まえた適正配置計画（案）を策定し、説明会を開催する予定です。また、統合によって通学距離が延びる場合は、その距離にもよりますが登下校についてスクールバスを運行し、児童生徒の安全確保を図ります。

問 3：今回の目的からも、統合ありきで話しが進んでいるように感じます。実際に児童数が何名以下で統合になるのか？成東学区のママ友で大富学区に引っ越しを考慮している人もいます。経費削減のための統合ならば、お金よりも子供達の教育は何よりも大切であり何事にも代えられない！私たちの大富小学校を何とか残して欲しいです。

回答：今回、基本方針【素案】をお示ししましたが、児童生徒数の減少を踏まえ将来的にこの組み合わせが望ましいのでは、といった考え方をお示しただけで、これで進めていくといったことではありません。この考え方について、皆さんのご意見を聴き、合意を得ながら進めていくものだと考えています。児童数が何名以下で統合という基準はありません。最低でも複式学級になる前に規模適正化を図っていきたいと考えています。

問 4：平成 28 年度中に山武市内すべての小中学校にエアコンを入れるそうだが、無くなる学校にまでエアコンをつけてどうするのか？税金を何だと思っているのか？

回答：近年の異常ともいえる気温の上昇から、児童生徒たちを守るため、エアコンの導入は国からも推進されているところです。学校の規模適正化・適正配置は、保護者や地域の皆さんの理解が得られなければ進められない問題であり、何年もかかることが想定されることから、子どもたちの健康、教育環境の充実を図るために設置するものです。仮に統合によって、学校を使用しなくなり学校跡地の利活用により他の目的で使うようになった場合でも活用できると考えています。

問5：統合しない形の教育プラン等は検討しないのか？文部科学省も地域事情に応じて、小規模校の存続もやむなしとあります。大富小学校は、地域との関わり合いが非常に強く、各種学校行事、イベント、子供たちの登下校の見守り等、地域の方々に支えられている側面があります。地域コミュニティの核がなくなってしまうようお願いしたいです。

回答：基本方針（素案）を策定する際も、存続させるにはどうしたらよいか、どのような方策があるか検討しました。その中では、学区の再編により規模適正化を図る手法、特色ある学校運営により市内外から児童生徒を確保する特認校制度についても議論されましたが、全市的に小規模校である本市においては望ましい方策ではないと判断し、まずは統合によって規模適正化を図る考えに至りました。文科省の手引書で、学校規模の標準を下回る場合の目安として、小学校の場合、6学級：クラス替えができない規模については、児童数の状況や更なる小規模化の可能性、将来的に複式学級が発生する可能性も勘案し、学校統合等により適正規模に近づけることの適否を速やかに検討する必要がある。と書かれております。その際、離島や山間地などで統合が事実上できない学校や統合できない地域的な事情がある場合には、そのままの状況で小規模化のデメリットを解消するような方策を検討するということが書かれています。日頃から、学校行事のみならず、登下校の見守りなど地域の方々のご支援ご協力には大変感謝しておりますし、学校が地域コミュニティの中心的存在であることも十分理解しています。しかしながら、教育委員会では、学校はやはり義務教育における目的を果たすためにより教育効果を高める学びの場であることを最優先に考えております。そうでなければ少子化が進む状況下において、この考えから学校の存続をさせていこうとすると、学びの場としての学校という本来の役割が機能しづらくなっていく懸念があります。地域コミュニティの希薄化はどの地域でも課題となっております。どのように維持発展させていくか、学校と離して協議検討していただきたいと考えています。学区がかわったとしても地域の子には変わりはなく、暖かい目で見守っていただきたいと考えております。

問6：統合する場合、その場所はどこになるのか？仮に成東小の場合、イベントや行事の際、保護者は車の置場もないがどのような対応になるのか？既存の建物利用より、新設で場所も移設したほうが保護者の理解も得られそうだがその考えはないのか？予算が問題なら、市の庁舎や出張所等の施設を建て替えたり、増築する予算をもっと学校関係にまわすべきではないのか？

回答：統合後の学校の位置は、質問2で回答させていただきましたが、本年度中に策定する適正配置計画（案）でお示しすることとなります。質問にあるように、教育委員会でも新設すれば理解を得やすいことは十分理解しております。しかしながら、財政的な問題もあることから、建築年次の新しい校舎は原則使用する方向で検討しています。ただし、老朽化により建て替えの必要が生じた際には、状況により違う場所に建て替えることも1つの選択肢となろうかと考えております。今後市の新市建設計画や財政計画等の計画との調整を行い、いつ頃どの学校を使うのか、新たに別の場所に建てるのかなどの具体的な方向性については、先程述べました適正配置計画（案）を策定し、保護者や市民の皆さまと十分協議しながら進めていくこととなりますので、ご理解いただきたいと思っております。また、予算を何に充てるかについては、非常に難しい政策的問題です。大規模な施設の建設については、議会での承認が必要となることから全市的な議論の上決定されることとなります。

※事前質問以外の意見内容と回答

◎男性

先ほど説明いただいた中で、課題として教育的観点からの統合という説明があったが、私はその全てがそうだとは思わない。そういう考え方もあると理解するが、実際にはそうではないと思っている。私自身は、1学年5学級の大規模な学校で育ったが、今の仲間同士のつながりとか学年間のつながりを考えると、今現在の大富小学校の児童は非常にうらやましい状況にあると思っている。現実的に、資料にある課題が問題だから、最低でも2学級という説明をいただいているが、果たしてそれが本当なのかという、客観的なデータで示されているものがあるのか。例えば、小規模校のほうが不登校の率が高いとかそういうデータはあるのか。それ以外にも多くの課題があるが、そのへんがはっきりしないと、課題を考慮した1学年2学級以上ということには、私は全く賛同できない。

○学校教育課長

ご質問の固定化した人間関係では、小規模校の方が不登校の率が高いのかということについてだが、不登校の率については、小規模、中規模、大規模校という区分けをしたデータは手元にない。ただ、私自身が学校現場にいた中で、様々な情報交換をしていた中では、小規模校、クラス替えができない学校では、人間関係が固定化して行って、不登校になるまでにはいかななくても、一人で悩んだり休みがちになったりする子が多いといった情報を得ている。そういった子ががんばっていくには、学び直せる機会などを提供できる教育環境を作ることを、我々、教育委員会の方で考えていかなければならないと思っている。

◎男性

何もデータがないということは分かった。私としては賛同いたしかねる。

◎男性

先ほど、事前の質問に対する回答があったが、その中で統合ありきでの話ではないとあり、別の質問（統合の時期はいつ頃か）対しての回答では、決まりしだいお知らせする段階にあるということだが、この二つの回答は矛盾していると思うがいかがか。

○教育総務課長

あくまでも、私どもの方針としては、こういう形を基本にして整えていった方がいいのではという考えでいるが、その考えに対して、どういう組合せでという具体的なものがないとイメージがわからないし、判断ができないという意見もいただいているので、具体的な組合せと時期を案として今年中にまとめて、その案を再度ご提案させていただいて、ご意見をいただく考えでいる。その際にその案(統合)では承知できないということであれば、再度、意見交換をさせていただく考えでいる。私どもとすれば、この案で必ずやる、進めていくということではないということ、ご理解いただきたいと思う。何も案がなければ話し合いができないことからの今回の提案であり、何が何でもこの案を進めるということではない。

◎男性

今の回答からすると内容は理解できるが、山武市としてこの統合について、いつまでにとりあえずリミットのものは存在するのか。

○教育総務課長

リミットはない。

◎男性

カリキュラムの方になるが、児童するが少ないので人間関係が固定化する、競争力が育たないという話があったと思うが、他校との合同授業とか合同で何か行事を行うとか、地域活性化のために何校か合同で何かをするという形で、学力、運動能力などを競い合うことで、一つのものを作りあげていくような考えはないのか。

#### ○学校教育課長

他校との合同での行事、合同学習というのは非常に効果があることだとは思う。ただ、毎日の学びの中で、定期的な機会として接していく中では、他人のいろいろな考え方があるので、毎日に日々の中で、多くの多様な価値観や考え方に触れていくことによって、その子の力が伸びていくと考える。確かに、他校と合同で行う行事などを設けることで効果があると考えるし、競争力が身に付くという部分も否定はしない。現に、小規模の学校では他校との交流を図って、小規模校ではできない、競争心などを高めるために頑張っている学校もある。

#### ◎女性

昨年の7月に3人の子どもたちを連れて、この大富小学校区に引っ越してきたが、先ほどの質問と回答の中で、学校が有るか無いかで、その地域が過疎化になるかどうかは、まだ分からない、学校は関係ないというような話があった。私たちは、大富小に子どもたちを入れたいと思って引っ越してきた。もし、大富小が無くなるのが分かっていたら、私たち家族は引っ越してこなかった訳なので、そういう意味では、学校が無くなれば過疎化になる、地域に元気がなくなるというのは、明らかだと思う。山武市として、これから人口をこれから増やしていきたいのであれば、学校の統合よりも小規模の学校を残していくことが大切だと思うし、私としては残していただきたい。あと、アンケートを基に望ましい学級数と1学級あたりの人数を決めたという話だったが、この望ましい数は理解するが、自分の近くの学校を廃校にしてまで、この望ましい数になる統合先の学校（遠くの学校）に、自分の子、この地域の子どもたちを通わせてもいいのかということに疑問をもっている。そういうことで、アンケートの聞き方、望ましい数だけ聞いて、望ましい数になるには統合することになるが、それでもいいかという問いがあったのか。また、年内に再度説明があるとのことだが、アンケートを再度実施する考えがあるのか伺いたい。

#### ○教育総務課長

私どもは教育的な効果が高まるにはどうしたら良いかということで、この方針案をつくった訳だが、この方針案に対してご意見をいただきたいということで、本日、このような会を設けていただいた。私どもの考えをお伝えし、皆さんからの意見を聴くことを繰り返していきたいと考えている。この方針に反対だという意見も多くでてくると思うが、そういったことをご意見のあったように、アンケートという形で最終的に判断するというのも、一つの方法として検討する余地はあると思う。ただ、私どもとしては、望ましいという形の案を一度お示ししなければ、こういう意見交換もできないので、先ほどおっしゃったような、近くの学校を廃校にしてまで、望ましい数になる統合先の学校いきたくない、今の学校のほうが良いということであれば、そういう意見をどんどんいただいて、私どもはその意見を踏まえて、また判断していくという形になると思う。こういう機会を増やして、いろんな意見を出していただいて、この地区（学校）にとって何が一番いいのか、この地域の子どもたちの将来に対して、どうしたらいいのかということ、私どもと意見交換していただくとともに、保護者の方々や地域の方とも話し合っただけならばと思っているので、よろしくお願ひしたい。